

# 中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

Logistics, Progress, Borderless.

**YASDA**

## ■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第158期の中間報告書（2025年4月1日から2025年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

物価上昇及び米国の通商政策動向の影響による先行き懸念など不透明な状況が続く中、当社グループは2030年のあるべき姿を描いた「長期ビジョン2030」を実現するための計画として、2025年度から2027年度までの3年間を対象期間とする新たな中期経営計画「強くなる、ひとつになる YASDA GROUP CHALLENGE 2027」を本年4月より始動いたしました。『最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク』～安田倉庫グループの総合力を進化させ、社会とお客様の期待を超える「YASDA Value」の提供を目指す～の基本方針に基づき、メディカル物流サービス拡充のため埼玉県吉川市に「吉川営業所」を新設する等、施設の増強に努めました。また、DX認定取得企業として倉庫現場における物流DXの導入を推進することで、引き続き、付加価値の高いロジスティクスサービスのご提供を目指してまいりました。

当社といたしましては、利益水準等を勘案しつつ、当期の中間配当を1株につき29円（前中間比14円増）とさせて頂きました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月



代表取締役社長

小川一成

### 「長期ビジョン2030」～次の100年に向けて～

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で

全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す

### 中期経営計画「強くなる、ひとつになる YASDA GROUP CHALLENGE 2027」基本方針

『最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク』

～安田倉庫グループの総合力を進化させ、社会とお客様の期待を超える

「YASDA Value」の提供を目指す～

## ■ 事業の概況（連結）

当中間期における当社グループの業績は、物流事業、不動産事業とも堅調に推移し、営業収益は、前年同期比4,034百万円増（11.2%増）の40,196百万円、営業利益は、前年同期比555百万円増（38.3%増）の2,007百万円、経常利益は、前年同期比551百万円増（25.9%増）の2,677百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比383百万円増（28.3%増）の1,739百万円と増収増益になりました。

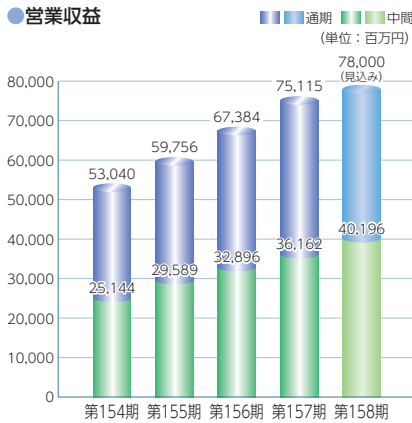
セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、前事業年度に新設した物流施設の高稼働化や新規取引の開始、既存顧客との取引拡大により保管料、倉庫作業料、陸運料、国際貨物取扱料等で増収となり、営業収益は前年同期比3,938百万円増（11.8%増）の37,328百万円、セグメント利益は前年同期比635百万円増（32.8%増）の2,573百万円となりました。

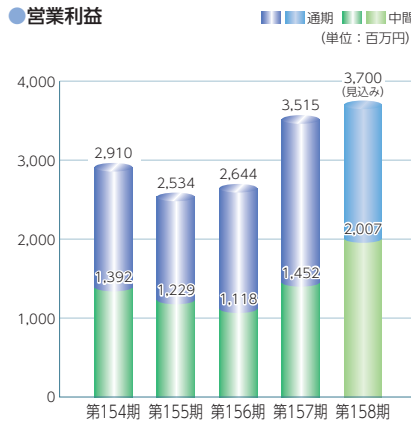
不動産事業では、前事業年度に横浜駅西口に竣工した複合用途ビルが順調に稼働し、不動産賃貸料が堅調に推移しました。その結果、営業収益は前年同期比127百万円増（4.2%増）の3,121百万円、セグメント利益は前年同期比57百万円増（6.4%増）の958百万円となりました。

## ■ ハイライト情報（連結）

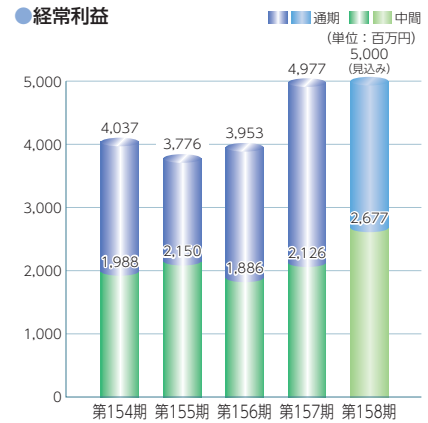
### ● 営業収益



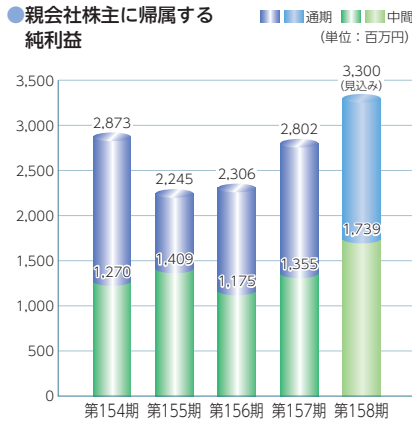
### ● 営業利益



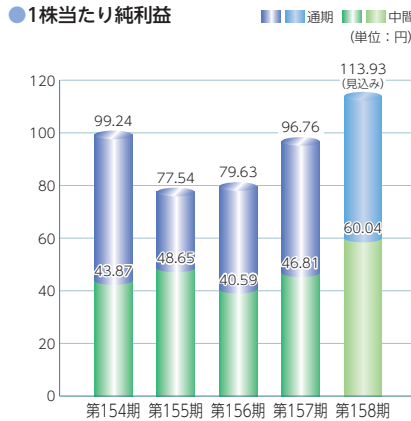
### ● 経常利益



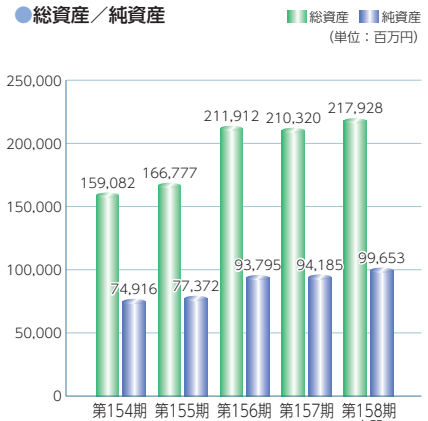
### ● 親会社株主に帰属する純利益



### ● 1株当たり純利益



### ● 総資産／純資産



- (注) 1. 上記に記載した第158期の業績見込み数値は、2025年11月5日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記見込み数値と異なる場合があります。
2. 当社は、「株式給付信託（BBT）」を導入しており、1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる普通株式の期中平均株式数については、当該信託が保有している当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。
3. 第157期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第157期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## ■ 連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期末 2025年9月30日現在	前期末 2025年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	33,400	34,559
固定資産	184,527	175,761
有形固定資産	100,452	98,298
無形固定資産	8,602	9,139
投資その他の資産	75,473	68,322
資産合計	217,928	210,320
負 債 の 部		
流動負債	21,340	20,493
固定負債	96,934	95,641
負債合計	118,275	116,135
純 資 産 の 部		
株主資本	51,462	50,300
その他の包括利益累計額	47,783	43,452
非支配株主持分	407	432
純資産合計	99,653	94,185
負債純資産合計	217,928	210,320

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間 2025年4月1日から 2025年9月30日まで	前中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
営業収益	40,196	36,162
営業総利益	5,073	4,557
営業利益	2,007	1,452
経常利益	2,677	2,126
法人税等	875	750
中間純利益	1,754	1,387
親会社株主に帰属する中間純利益	1,739	1,355

- (注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 第157期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第157期中間連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間 2025年4月1日から 2025年9月30日まで	前中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,905	4,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,026	△2,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,482	△3,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	△112	224
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,715	△1,448
現金及び現金同等物の期首残高	20,384	17,344
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,668	15,895

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細は、当社ホームページの「IRライブラリー」をご覧ください。

安田倉庫 IR

検索

## ■ 業績の見通し（連結）

当中間期の当社グループの業績は、新設した物流施設の高稼働化や既存施設の収益力向上、輸配送ネットワーク拡充による陸運料、国際貨物取扱料の増加、利益向上やコスト構造改革の取り組み推進に伴う各種営業原価・営業費用の圧縮及び業務の合理化が進んだことなどにより、営業収益、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益については、公表予想を上回る結果となりました。

今後も依然として厳しい事業環境が続くことが予想されますが、当社グループは、物流事業においては、グループ連携によるネットワーク拡充により、事業基盤の強化を推し進め、潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供やソリューション提案力の強化、最先端テクノロジーやデジタル技術を積極的に活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進により取引の拡大に努めてまいります。また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策や高い専門性を活かした不動産ソリューションの提供を通じ、安定的な収益基盤の強化・拡大を推進し、収益の増加を図ります。

なお、当社グループの通期業績見通しについては、当中間期の実績及び今後の見通しを勘案して、ハイライト情報（前掲）のとおりとしております。2025年5月7日公表の内容は変更しておりません。

## ■ トピックス

### 1. 新中期経営計画「強くなる、ひとつになる YASDA GROUP CHALLENGE 2027」の始動

当社グループでは、2030年のあるべき姿を描いた「長期ビジョン2030」を実現するための計画として、2025年度から2027年度までの3年間を対象期間とする新たな中期経営計画「強くなる、ひとつになる YASDA GROUP CHALLENGE 2027」を策定し、本年4月より始動いたしました。

本計画では、これまでに培ってきた「最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク」を更に強化し、それらを安田倉庫グループの総合力として進化させ、社会とお客様の期待を超える「YASDA Value」の提供を目指してまいります。詳細は右記の二次元コードよりご参照ください。

安田倉庫グループ 中期経営計画 2025-2027

<https://www.yasuda-soko.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=Oi0NzFjmnuy%3d&tabid=101&mid=438>



### 2. 吉川営業所の開設

本年7月、埼玉県吉川市において、「メディカル物流ユニット東京物流センター」のリニューアル工事を行い、「吉川営業所」として新たに開設いたしました。同拠点は、医薬品管理に必要なGDP（医薬品の適正流通）ガイドラインに対応した医薬品物流拠点であり、保管効率に優れた自動倉庫となっております。また、危険品に該当する医薬品等が保管可能な危険品倉庫も新設いたしました。当社では昨年4月にも、埼玉県加須市に当社最大規模の医薬品物流拠点、「加須営業所」を開設しており、今後も、医薬品をはじめとしたメディカル物流サービスの更なる拡充を図ってまいります。



吉川営業所 物流棟

### 3. 倉庫現場における物流DX（デジタルトランスフォーメーション）推進

当社グループは、倉庫現場にAI画像検品ソリューションやAMR（自律走行搬送ロボット）等の導入を進め、物流DXを推進しております。今後も、AI・ロボティクスなどの先進技術を活用し、社会やお客様の課題解決と当社グループの更なる収益性向上を目指してまいります。



AI画像検品ソリューションを  
活用した医療機器の検品



医療機器物流現場で導入した  
重量物対応AMR



作業者と協働して  
製品のピッキングを行うAMR

### 4. 決算説明会、個人投資家向け説明会の開催

投資家の皆様に当社グループへのご理解をより深めていただくため、当社では定期的に社長による決算説明会や個人投資家向け説明会を開催しております。今後も株主・投資家の皆様への情報発信を一層強化し、積極的なIR活動を通じて企業価値の向上に努めてまいります。



個人投資家向け  
オンライン説明会の様子



## 会社の概況 (2025年9月30日現在)

- 商号 安田倉庫株式会社  
Yasuda Logistics Corporation
- 本店 東京都港区芝浦三丁目1番1号
- 創立 1919年12月20日 (大正8年)
- 資本金 36億210万円
- 当社グループの主要な事業内容
- 物流事業  
倉庫業、運送事業、利用運送事業、通関業、港湾運送事業
- 不動産事業  
不動産業 (ビル、土地、駐車場等の開発、賃貸、売買、仲介、管理)
- 当社グループの従業員の状況  
連結従業員数 2,625名 (内、安田倉庫従業員数 487名)

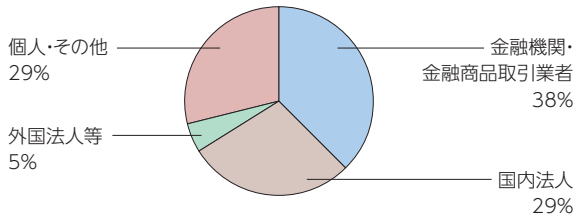
## 当社の取締役、執行役員及び監査役

代表取締役会長	藤井 信行	常務執行役員	浅野慎一郎
代表取締役社長	小川 一成	執行役員	細井 昌彦
代表取締役		執行役員	高濱 尚志
取締役専務執行役員	武藤 博幸	執行役員	財津 慶一
取締役専務執行役員	松井 正博	執行役員	赤沼 孝
取締役	井福 晴子	執行役員	三輪 高久
取締役	周藤 晴子	執行役員	大原 護
取締役	東山 克之	執行役員	荒川 昌幸
取締役	野上 幸門	執行役員	渡邊 涉
取締役	征矢 真一	執行役員	日比野洋之
常務執行役員	小泉 眞吾	常勤監査役	藤原 和雄
常務執行役員	鵜飼 厳	常勤監査役	藤本 聡
常務執行役員	青木 健太	監査役	梅本 武文
常務執行役員	佐藤 陽一	監査役	

(注) 1. 取締役井福 正博、周藤 晴子、東山 克之、野上 幸門、征矢 真一の各氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役藤本 聡、梅本 武文の各氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況 (2025年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 1億1,850万株
- 発行済株式の総数 3,036万株
- 株主数 13,364名
- 所有者別株式分布



## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
損害保険ジャパン株式会社	2,045	7.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,823	6.27
明治安田生命保険相互会社	1,604	5.51
東京建物株式会社	1,603	5.51
株式会社みずほ銀行	1,253	4.31
東京海上日動火災保険株式会社	1,122	3.86
安田不動産株式会社	1,020	3.51
大成建設株式会社	1,009	3.47
株式会社中央倉庫	982	3.37
ヒューリック株式会社	963	3.31

(注) 1. 当社は、自己株式を1,255,656株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 同総会基準日 3月31日  
その他、必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
- 配当金基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 特殊口座管理機関
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ  
<https://www.yasuda-soko.co.jp/ir/tabid/136/Default.aspx>に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場取引所 東京証券取引所 プライム市場
- 証券コード 9324

## お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続きお取扱い店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出等)	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続きお取扱い店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行って頂く必要があります。

## ホームページのご案内

当社のHPでは、会社情報や株主・投資家情報、サステナビリティへの取り組み等、様々な最新情報を掲載しております。本年9月には会社紹介動画をリニューアルいたしました。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.yasuda-soko.co.jp/>

安田倉庫

検索



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

